

市議会の動き

教育委員に羽入さん

二階堂さんの選任を同意

9月定例会市議会は、9月17日から27日までの会期11日間で開かれました。

この定例会では、教育委員の選任同意など議案8件、意見書案1件、決議案1件の計10件を審議しました。

可決された

おこなわれた

▽教育委員の選任に同意
この結果、羽入三郎さん(六四〇庄瀬)と二階堂正吉さん(六三〇新湯市)が再任されました。
羽入さんは今回で六期目、二階堂さんは三期目です。
▽昭和五十一年度一般会計補正予算
歳入、歳出に一億三千九百九十九万を追加。歳入の主なものは普通交付税、農村総合整備モ

可決された

決議案と意見書

▽異常気象による農作物の被害対策に関する決議
春からの天候不順は、本市の農作物にも被害をもたらした。農家に大きな打撃を与えている実情から、国で救済してほしいというものを……。送付先きは、内閣総理大臣、農林大臣などです。
▽国民健康保険制度の強化に関

可決された

意見書

そのための、健全な財政運営ができるよう、国の措置を願いたいというものを。送付先きは厚生省、大蔵省、自治省などです。
故高井會市さんに叙勲
さきほど逝去された、市議会議員の高井會市さん(六九〇能登)に、正六位勲五等双光旭日章が贈られました。

長寿者番付 10/1現在 (同年齢の方は生年月日順によりました)

〔東〕			〔西〕			
玉川	寛藏	新白	100	横網	戸頭	99
川村	チヨノ	白	98	大関	小坂	96
中沢	トノ	一の町	93	大関	五ツ野	92
中村	太一郎	中山	92	小結	四ツ野	92
長井	ユシノ	七軒	92	前1	中下郷	92
中野	タソノ	下赤	92	同2	魚町	92
高橋	ミサ	下瀬	92	同3	山崎	91
風間	サチ	古川	91	同4	白井	90
吉田	マチ	上大郷	90	同5	菱新田	89
水本	弥八	下瀬	89	同6	上茨	89
関根	タツ	下赤	89	同7	赤津	89
中野	ツル	下赤	89	同8	下赤	89
栗田	瀬	下	89	同9	下赤	89
				同10		
				十両		
須藤	文吉	朝捲	89	1	戸頭	89
田中	ヨシ	戸頭	89	2	上赤	89
猪又	ツク	中大郷	89	3	引古	88
長谷川	長郎	下大郷	88	4	上野	88
金子	モ	五六の町	88	5		

老人福祉対策事業

市はこんなことをやっています

▽家庭奉仕員の派遣 心身に障害があるため日常生活を送るのに支障のある老人に派遣し、日常生活の世話をします。現在、奉仕員は四人。そのうち二人が老人担当です。
▽介護器具の貸与 長期にわたって床にしている人や歩行の困難な人に、特殊寝台や車イスを無料で貸しています。
▽高齢者職紹介所 白寿荘内に設け、求人、求職のあっせんなどの紹介を行っています。
▽高齢者大学 六十歳以上の人の教養の向上や娯楽、健康管理を目的に月一回、白寿荘を会場に開催しています。現在の会員は百一人です。
▽老人運動会 全市の老人クラブが参加して、毎年一回行われ

意見書

各町村は国保財政の運営で老人医療費の無料化や高額医療費の支給制度、医療費の改訂などにより苦しく、危機に直面しています。



9月12日に行われた老人運動会——くったくのない笑い声が会場いっぱいひびいていました。

高齢化社会がやってくる

昭和四十五年の国勢調査によれば、六十五年には、日本人十人に一人は六十五歳をこえるお年寄りといわれ、文字どおり「高齢化社会」が出現するといわれています。

本市の場合も、四十五年では二千七百二十七人の六十五歳以上のお年寄りが、五十年には三千三百二十一人にもなっています。市でも、今後予想される高

お年寄りの健康に医療費を無料化

老年期の人たちにとって、一番の心配は病気。老人病といわれる病魔が、お年寄りのからだをねらっています。
そのため、六十五歳以上の人を対象に年一回、全地区で行っている無料健康診査と保健課で、毎月一回実施している健康相談は、予防に大きな効果をおぼえています。
しかし病気がかかった場合の医療費は、お年寄りにとっては負担です。
市では、昭和四十八年から七十歳以上の老人(ねたきりの人は

老後の人生を考えよう

私たち65人に1人がお年寄り

お年寄りから楽しい一日を過ごしてもらうため、各地区で「敬老会」が、さかんに行われています。
今、私たちの市には、百歳のお年寄り一人、六十歳以上の人が五千七人もいます。そこで、この機会に老人福祉制度のあらましを紹介し、皆さんから将来の、しあわせ計画を、をたててもらいたいと思います。

老後の保障 高い年金めざす

一家の経済を支えてきた人たちが、老後の人生をスタートするとき収入の減少が大きな障害となります。
これからの高齢化社会を豊かにするために、その収入の向上は、社会保障制度がかかっている大きな問題です。
昭和三十六年からスタートした国民年金制度は、年金や恩給制度に入っていなかった人を対象に考えられ、年金制度の谷間を埋めて、国民年金皆年金の時代をもたらしました。
現在、老齢福祉年金は月一万二千元、今からは一万三千五百円になります。
この額も決して喜んではいられません。こうした国の動きは、ほかの年金額の引き上げも促して行くことでしょう。